サイレントクリーナー　ＳＣ３０－３２Ｓ

取　扱　説　明　書

① 部品の点検

サイレントクリーナー本体・・・・・・・・・１
３０ℓＳＵＳタンク・アルミ台付・・・・・・１
キャスター（内１個ブレーキ付）・・・・・４
キャスター用スパナ・・・・・・・・・・・・１
吸込ノズル・・・・・・・・・・・・・・・・１
サクションホース・・・・・・・・・・・・・１
ホースバンド・・・・・・・・・・・・・・・２
スペアーフィルター（集塵用）・・・・・・１

② キャスターの取付　キャスターを３０ℓＳＵＳタンクのアルミ台に、専用スパナで取り付けてください。

③ ｻｲﾚﾝﾄｸﾘｰﾅｰ本体の取付　サイレントクリーナー本体を、３０ℓＳＵＳタンクにパッチン錠で留めます。

④ サクションホースの取付　サイレントクリーナー本体の吸込口にサクションホースを取り付け
ホースバンドで留めます。
（この時サクションホースを右に回すと取り付けやすい。）

⑤ 吸込ノズルの取付　サクションホース先端に吸込ノズルを取り付けホースバンドで留めます。
（この時吸込ノズルを右に回すと取り付けやすい。）

⑥ コンプレッサーへの接続　エアー配管には必ずエアーフィルターを取り付けてご使用ください。
（配管内の錆等が装置内に入りますと性能が極端に低下します。）
エアーホースは内径８．５mm以上をご使用ください。
エアーバルブを閉じた状態でエアーホースを接続してください。

⑦ 作　　動　サイレントクリーナー本体のエアーコックを開いて吸い込み開始です。

★ 吸い込みが弱い時
エアー供給源の不備
（１）エアー圧力が低すぎるか、エアー量の不足。
（２）エアーホースが長すぎるか、細すぎる。
（３）カプラの多用。
（不適当なカプラを使用しますと、エアーの流れが非常に悪くなり十分な性能が発揮できません。）

★ 特　長
- 使用中ホースロが塞がり、タンク内部の真空度が急上昇しても
セフティバルブが働き、各装置やタンクが破損する心配はありません。
これはサイレントクリーナーの大きな特長です。
- 尚、セフティバルブはむやみに調整しないでください。

★ 注　意
- 使用中に吸い込みが弱くなった時は、集塵用フィルターの目詰まりが考えられます。

集塵用フィルター　吸い込まれたごみは、集塵用フィルターで補集されます。
集塵用フィルターの交換時期が遅れますと、サクションエリア内の真空度が上がり過ぎ、
ごく小さなごみが集塵用フィルターを通り抜けてサイレントフィルターに付着し、
目詰まりが生じますので早めにお取り替えください。

サイレントフィルター　集塵用フィルターを通過してきたごく小さなごみの他にも、エアーの汚れ
（錆や油が含まれている）等も目詰まりの原因となりますのでご注意ください。

粉塵には別売の粉塵用フィルターセットをご使用ください。

オオサワ&カンパニー
ＴＥＬ　（０６）６５７２－１２０７
ＦＡＸ　（０６）６５７２－１２５６

ご不明の場合は販売店、又はメーカーにお問い合わせください。

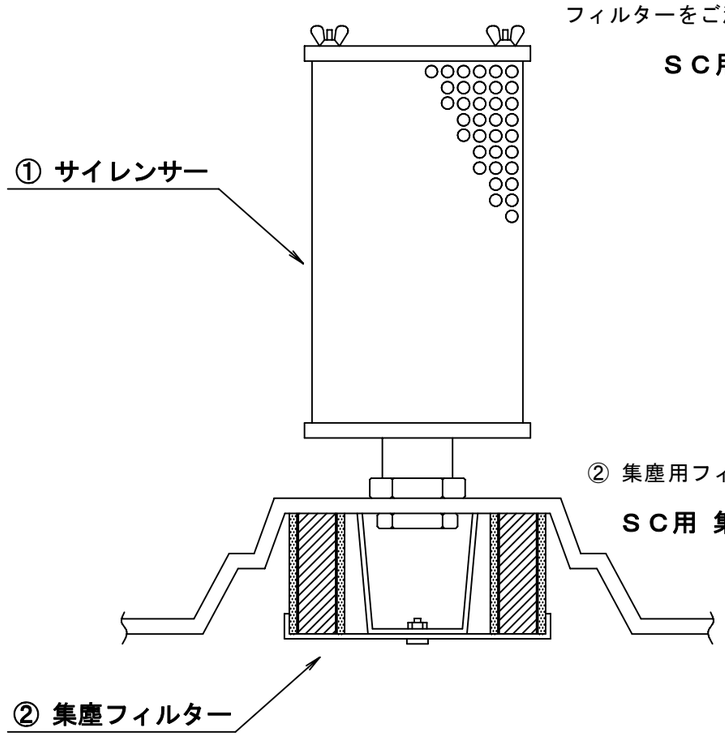
2012.03.12 改訂版

フィルターの説明とご注文方法

① サイレンサー内部に、サイレントフィルターが入っています。
フィルターをご注文の場合は、

ＳＣ用 サイレントフィルター

とご注文ください。



② 集塵用フィルター（黄色）をご注文の場合は、

ＳＣ用 集塵用交換フィルター（小型６個入）

とご注文ください。

- 本機は集塵用フィルター付きのため、粉塵・粉体等の吸い込みには不適当です。
粉塵・粉体等の吸い込みには、別売の粉塵用フィルターセットを取り付けてください。
フィルターセットをご注文の場合は、

ＳＣ３０用 粉塵用フィルターセット

とご注文ください。

ハイドロストッパー（別売）の説明

- 液体を吸い込み中に、タンク内の液体が一定量になるとボールが浮き上がり、
吸い込みを自動的に中止する装置です。
ハイドロストッパーをご注文の場合は、

ＳＣ用 ハイドロストッパー

とご注文ください。